

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「理系研究室の充実」

提出日 2024 年 8 月 22 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)副学長 (大学院)
林 隆敏
(学長室 (院))

1. 長期戦略のテーマ

超長期ビジョン	長期戦略 (テーマ名)	統轄部署
2 大学院教育	(2) 理系研究室の充実	学長室 (院)
内容		
本大学理工学研究科においては、一定数の大学院生を確保することが教員の研究活動と直結するだけでなく、学部・大学院の教育、後期課程への進学者数、研究者の輩出数等とも深く関連するため、本大学理工学部から前期課程への進学者比率 60%以上を確保する。 そのために、学部入学直後のオリエンテーションから大学院進学への価値 (高度な研究の魅力、研究開発職への就職率、大学院卒の年収・生涯賃金の高さ等) をデータに基づいて説明し、進学を意識づける。また、他大学大学院への流出を防ぐためにも、例えば学士・修士の 5 年一貫コースの設置など修学期間を短縮する施策等をとおして、学生が専門性を活かした研究開発職での就職を目指す。 研究者を目指す者のためには、原則、日本学術振興会の特別研究員採用者に限って後期課程修了後に任期制助教への採用を保証してキャリアパスを可視化し、研究者への道筋を示す。特別研究員に採用されるための支援は学部生時代から担当教員だけでなく専門知識を有した URA が行う。 【フェーズⅡに向けた課題】 ・ 大学院改組の検討 ・ 企業等との共同研究実績及び研究開発職輩出状況の可視化 ・ アントレプレナー育成のための「KSC ベンチャーラボ (仮称)」の実現 【フェーズⅡの Total Review】 ・ 教員の研究活動や教育上の魅力、志願者数まで直結する、理工系大学院生を確保するため、大学院早期履修制度や保護者説明会などを継続開催している。 ・ 研究開発職への就職増をめざして、キャリアセンターと教員との企業訪問会を実施している。 ・ 遺贈による寄付金を原資とした独自奨学金制度の制定検討中である。 【フェーズⅢに向けた課題】 ・ 教員の研究活動や教育上の魅力、志願者数まで直結する、理工系大学院生を確保するため、大学院早期履修制度や保護者説明会などの継続実施。 ・ 進学率 60%は、定員数を確保する指数に修正する必要がある。 ・ 博士後期課程の実質無償化施策と合わせた広報の充実 ・ デジタル・グリーン分野の拡充に対応した教育・研究環境の整備		

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「理系研究室の充実」

提出日 2024 年 8 月 22 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)副学長 (大学院)
林 隆敏
(学長室 (院))

指標 1

指標	内容					
指標名	理工学部から本学前期課程への進学率					
定義・算式	理工学部から本学前期課程への進学率					
現状値 (指標設定時)	約 35%					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
	50%以上		55%以上		50%以上	
実績値	2019 年度	40.52%	2022 年度	40.99%	2025 年度	
	2020 年度	36.93%	2023 年度	39.07%	2026 年度	
	2021 年度	39.52%	2024 年度		2027 年度	

指標 2

指標	内容					
指標名	定員充足率					
定義・算式	理工学研究科 (前期課程、後期課程) の定員充足率 (入学定員充足率の 5 年平均 / 収容定員充足率)					
現状値 (指標設定時)	2023 年度 前期課程 (1.05 / 1.08) 後期課程 (0.42 / 0.50)					
目標値	フェーズ 1 終了時 (2021 年度)		フェーズ 2 終了時 (2024 年度)		フェーズ 3 終了時 (2027 年度)	
					前期 (1.00 / 1.00) 後期 (1.00 / 1.00)	
実績値	2019 年度		2022 年度		2025 年度	
	2020 年度		2023 年度	前期 (1.05 / 1.08) 後期 (0.42 / 0.50)	2026 年度	
	2021 年度		2024 年度		2027 年度	

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「理系研究室の充実」

提出日 2024 年 8 月 22 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)副学長 (大学院)
林 隆敏
(学長室 (院))

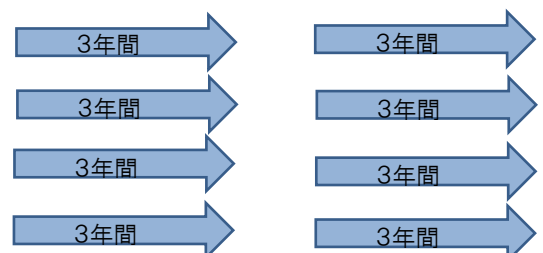
2. 実施計画ロードマップ

実施計画		担当部署	学部・研究 科での 取組み有/無	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027
①	学部から前期課程への進学率増の施策	理工	必要なし			3年間			3年間			
②	前期課程から研究開発職への就職率増の施策	理工	必要なし			3年間			3年間			
③			必要の有無 を選択ください。									
④			必要の有無 を選択ください。									
⑤			必要の有無 を選択ください。									
⑥			必要の有無 を選択ください。									
⑦			必要の有無 を選択ください。									
⑧			必要の有無 を選択ください。									
⑨			必要の有無 を選択ください。									
⑩			必要の有無 を選択ください。									
【備考欄】												

※想定される実施計画の例示

- ①. 大学院進学・5年コース設置等のシミュレーション実施
- ②. 大学院進学説明会の実施
- ③. 学部1年生と卒業生との懇談会実施
- ④. 学士・修士5年(4年)一貫コース設置の検討(再掲)
- ⑤
- ⑥
- ⑦
- ⑧
- ⑨
- ⑩

※ロードマップ策定作業用記号



I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「理系研究室の充実」

提出日 2024 年 8 月 22 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

副学長 (大学院)
林 隆敏
(学長室 (院))

3. 本長期戦略テーマの各実施計画に関する費用、人員の合計 (2019 年度～2027 年度)

◆フェーズⅠ：2019 年度～2021 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2019 年度	2020 年度	2021 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅡ：2022 年度～2024 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2022 年度	2023 年度	2024 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

◆フェーズⅢ：2025 年度～2027 年度

費用計画・人員計画 (単位：万円)	2025 年度	2026 年度	2027 年度
経費合計	非公開		
人件費合計			
総計 (経費+人件費)			

I. 長期戦略テーマ別帳票

テーマ「理系研究室の充実」

提出日 2024 年 8 月 22 日

長期戦略テーマの責任者
(統轄部署)

副学長 (大学院)
林 隆敏
(学長室 (院))

4. 進捗状況等記入欄

	進捗状況および今後の課題、方向性
2019 年度	・ 学部から前期課程への進学率増の施策として大学院科目早期履修制度設計を完了させた。 ・ 前期課程 2 年生を対象にしたアンケート、教員が企業を訪問し人事担当者と意見交換を行った。次年度それらの内容の分析を行い研究開発職相当の職種の精査をする。
2020 年度	・ 2020 年度の理工学部 4 年生のうち、大学院科目早期履修者数は 145 名。早期履修制度の理工学研究科への接続効果については今後検証を行っていく。 ・ 前年度末のアンケート結果をもとに懇談を実施した (6 月)。 ・ 文部科学省の施策「企業との連携による長期有給インターンシップ」推進協議会への参画を決定しており、本取り組みを推進し修士課程学生の研究開発職への就職支援につなげる。
2021 年度	・ 2021 年度の理工学部 4 年生のうち、大学院科目早期履修者数は 181 名。早期履修制度の理工学研究科への接続効果については引き続き検証を行っていく。 ・ 前年度末のアンケート結果をもとに懇談を実施した (6 月)。 ・ 文部科学省の施策「企業との連携による長期有給インターンシップ」推進協議会への試行的参加により 4 名の後期課程生の志願者があり、1 名がマッチングした。本取り組みを推進し修士課程学生の研究開発職への就職支援につなげる。
2022 年度	・ 2022 年度の理工学部 4 年生のうち、大学院科目早期履修者数は 198 名。 ・ 業務報酬型奨学金制はペンディングであるが、学部独自の遺贈寄付による奨学金「修学奨励奨学金」を規程化し、成績優秀者で大学院進学を目指す者への支給枠を検討開始した。 ・ 文部科学省の施策「企業との連携による長期有給ジョブ型インターンシップ」の参加により、3 研究室より 3 名の後期課程生の応募があったが、マッチングまでには至らなかった。
2023 年度	・ 2023 年 3 月理工学部卒業生 604 名のうち、2023 年 4 月理工学研究科前期課程への進学者数は 236 名。(39.07%で前年度比-1.92pt) ・ 2023 年度の理工学部 4 年生のうち、大学院科目早期履修者数は 196 名。 ・ 2023 年 3 月数理科学科早期卒業生数は 0 名。
2024 年度	
2025 年度	
2027 年度	